

## 令和5年度新規就農者数について

令和6年6月17日  
岩手県農林水産部

### 1 新規就農者数

- (1) 令和5年度の新規就農者数は286人で、前年度に比べ5人減少したものの、目標就農者数280人に対する達成率は102%。
- (2) 就農区分別では、自営就農者126人(44%)、雇用就農者160人(56%)。
- (3) 自営就農者の内訳をみると、新規参入者(68人)が最も多く、次いでUターン者、新規学卒者の順。

表1 新規就農者数の内訳(直近5か年) (単位：人)

就農区分	R1	R2	R3	R4	R5
自営就農者	140 (52%)	124 (40%)	110 (40%)	137 (47%)	126 (44%)
新規学卒者	13	13	13	7	11
Uターン者	79	63	48	78	47
新規参入者	48	48	49	52	68
雇用就農者	128 (48%)	188 (60%)	167 (60%)	154 (53%)	160 (56%)
合 計	268	312	277	291	286
青年	195 (73%)	235 (75%)	215 (78%)	212 (73%)	214 (75%)

※( )は新規就農者総数に対する割合

※青年は45歳未満の者

### 2 経営部門別の新規就農者数

- (1) 自営就農者  
野菜が54人と最も多く、次いで水稲21人、酪農13人
- (2) 雇用就農者  
水稲が48人と最も多く、次いで養豚28人、養鶏21人
- (3) 合 計  
野菜が70人と最も多く、次いで水稲69人、養豚28人

表2 経営部門別の新規就農者数の内訳 (単位：人)

部門	水稲	野菜	果樹	花き	肉牛	酪農	養豚	養鶏	その他	合計
自営	21	54	10	4	10	13	0	1	13	126
雇用	48	16	7	1	13	11	28	21	15	160
合計	69	70	17	5	23	24	28	22	28	286

(参考)

1 調査方法

各地方農業担い手育成推進協議会、(一社)岩手県農業会議、岩手県チキン協同組合及び岩手県養豚振興会等からの情報を県が取りまとめ、集計したもの。

2 調査対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

3 就農区分

(1) 新規学卒

中学校、高等学校、県立農大、大学、短大等学校を卒業後、他産業に従事することなく新たに就農した者。(卒業後直ちに研修を受け、新たに就農した者を含む。)

(2) Uターン

農家子弟であって他産業に従事した後、就農した者。(生活の主な状態が、「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」となった者(結婚によるものや家事から農業に切り替わった者も含む。))

(3) 新規参入

農家子弟以外で農業経営を開始し、「自営農業への従事が主」になった者。(農家子弟であっても、自ら農地や施設の権利を取得し、親の経営とは明確に区分できる新たな農業経営を開始した者を含む。)

(4) 農業雇用

農業法人等の主として農業生産部門に従事した者。(年間7か月以上(見込まれる者も含む。))

(5) 青年

45歳未満の者。